



スイートコーンは、温暖で強い日光を好む強健な野菜です。雄花が雌花より先に咲き、受粉のタイミングがずれやすいため、集団で育てることが実入りを充実させるポイントです。

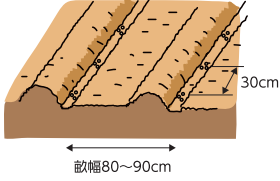
【品種】

「みわくのコーンゴールドラッシュ」(サカタのタネ)、「おひさまコーン」(タキイ種苗)やバイカラーと呼ばれる黄色と白色が混じっている「ゆめのコーン」(サカタのタネ)などがあります。

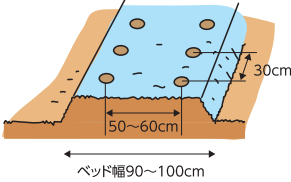
【栽培時期】

遅霜の心配のない4月下旬～5月中旬が種まき期です。なお、苗から育てる場合は、本葉2～3枚、

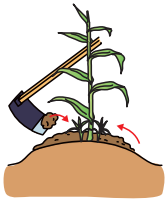
【図1】 土作り(1条植え)



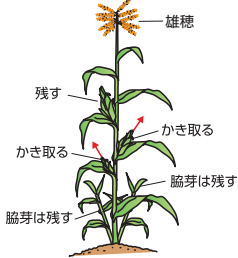
【図2】 土作り(2条植え)



【図3】 追肥・土寄せ



【図4】 雌穂のかき取り



味が減少するため、早朝に収穫して早めに冷蔵庫に入れましょう。もちろん、すぐに茹で上げて食べるのが一番です。

草丈が15～20cmになった頃が植え付けの適期です。栽培する数や列の数が少ないと花粉が不足しやすいので、最低でも10株または2条以上の集団で栽培してください。

【土作り】

1㎡当たり苦土石灰100gをあらかじめ散布しておきます。次に、畝幅80～90cmを取り、深さ20cm程度の溝を切ります。この溝1m当たり化成肥料(N・P・K 10・10・10%のものが最適)150gと堆肥1kgを施し、畑の土とよく混ぜておきます(図1)。

2条植えの場合、幅90～100cmのベッドを作り、1㎡当たり化成肥料200gと堆肥2kgを全面に施して、畑の土とよく混ぜます。そして、ベッドを平らにした後、早まきではポリマルチをします(図2)。

【種まき】

株間を30cm程度開け、1カ所に3～4粒まきます。ハトなどに食べられないように、寒冷紗や不織

布をべた掛けしましょう。

【管理】

草丈10～15cmで間引く苗を切り取り、1本立てにします。追肥は草丈50～60cmの頃、畝1㎡当たり化成肥料50gを列の片側に与え(2条植えでは1㎡当たり100gをベッドの両側)、株元へ土寄せします(図3)。そして、上の方の雌穂1穂にすれば大きい穂になります。

なお、脇芽は特に取り除く必要はありません(図4)。

【病害虫防除】

雄花がつき始めるころ、害虫のアワノメイガが葉の裏に産卵し、大きくなった幼虫は雄穂や雌穂(子実)を食害します。茎や子実に入り込んだ幼虫を防除するのは困難なので、雄穂が伸びだす頃に殺虫剤を散布します。

【収穫】

絹糸が出てから3週間ほどたち、絹糸が褐色に変わり、先端の子実が乳白色に着色した頃に収穫します。収穫後は急速に甘

肥料・農薬のご紹介

食害から守る！

トウモロコシ 専用殺虫剤



デナポン 粒剤5

「トウモロコシを収穫してみたら虫に食べられていた」ということはありませんか？

その原因はアワノメイガの幼虫です。この害虫は、葉の裏で孵化した後、茎の中に入りトウモロコシを食害していきます。

そんな時に役立つのが「デナポン粒剤5」です。手で簡単に散布でき、殺虫効果も長く続きます。

茎の先から雄穂が出る時期と葉の脇から雌穂が出る時期の2回、葉の上や葉と茎の間によくかかるように、上からパラパラまきます。食害されてからでは遅いので、被害が出る前に防除しましょう。

【注意】

- ・ミツバチや蚕に対して影響があるので注意してください
- ・使用前にラベルを確認してください

※ご不明な点は各営農センターまでお気軽にお問い合わせください